



甲府工業高校卓球部通信

目標：大阪インターハイ ベスト16

【今回の言葉】 【若いときの苦勞は買ってでも避ける】

引用文献『無敵化する若者たち』

(著) 金間 大介

解説 「若いときの苦勞は買ってでもしろ」いう。若いときにする苦勞は貴重な経験となるから、自ら進んで、面倒だったり大変だったりしそうなほうを選択しましょう、という意味のことわざだ。将来、年齢を重ねたとき「あの時苦勞して良かった」と思えることは確かにある。しかし、多くの若者の行動を見ていると、若い頃の苦勞は「買ってでも避ける」傾向にある。たとえば、卒業論文。自ら課題を発見し、仮説に落とし込み、方法を組みあげた上でデータを使って検証する。このプロセスは将来の仕事でも活かされる。だが、当の学生からすれば、これも避ける対象になる。昨今では、生成AIに課金してもらってケールが頻出している。楽しんで得るものは少ないと思いますが、おじさんの思考ですかね。

強化練習会	3月8日(日)	緑ヶ丘体育館
-------	---------	--------



今後の予定	全国選抜大会(シングルス部)	3月22日(日)~24日(火)	新潟県上越市
	校内合宿	3月26日(木)~29日(日)	学校

編集後記 緑ヶ丘体育館(サブ)で小中学生を集めて練習会を行いました。(メインは来年度も改修工事の予定)この世代も強化していかないと県全体のレベルが上がらないと感じました。私立学校がどのスポーツも強く、公立学校は部活動も制限され地域移行が進んできます。これからの部活動、地域活動を考えていく時期だと思います。